

## 学校教育目標

礼儀：ルールを守り、挨拶等礼儀正しくすることができる。

感謝：感謝の心を持ち、それを伝えることができる。

挑戦：自分を大切に、自ら高めようとするすることができる。

## 本校の学びの変革

これからの変化する社会に対応するためには知的障害のある児童生徒にも「知識・技能を活用する力」の育成が必要である。「児童生徒の考える力を育むための授業づくり」を目指して、授業改善を行う。

## 【学びの変革の目標】

授業に対話的な活動を取り入れることで、考える力を育む。

2

## 【方法(1)】

研究テーマに沿った授業の実践・分析

- ・学校全体で児童生徒の「考える力」や「対話的な活動」について考える。
- ・「対話的な活動」を取り入れた授業を全学級が実践し、研究テーマの検証を行う。

## 【方法(2)】

PDCAサイクルで授業改善

- ・研究テーマに沿った授業を1年間に2回実施する。
- ・「授業計画シート」や「振り返りシート」を活用し、1回目の授業を改善し、2回目の授業づくりに活かす。

3

## 【取組(1)】

研究テーマに沿った授業を全学級で2回実施

- ・全教員が他の学級の授業見学を行い、学校全体で考える力を育むための対話的な活動の在り方を考えた。

## 【取組(2)】

授業者同士によるPDCAサイクルと授業改善

- ・授業の振り返りをT1とT2で実施し、改善点を2回目の授業に活かした。

4

## 【学びの変革の結果】

多くの教員が、児童生徒同士の対話的な活動を授業に取り入れるための手立てを工夫して授業を行った。

授業改善を通して、授業に意識して対話的な活動を取り入れるようになり、児童生徒が考える機会を増やすことができた。